

平成 29 年度第 1 回 鹿児島労働局公共調達監視委員会の議事概要

日 時：平成 29 年 6 月 21 日（水）15 時 00 分～16 時 00 分

場 所：鹿児島合同庁舎第 2 会議室

出席委員：

采女 博文（鹿児島大学特任教授）

大脇 通孝（弁護士）

森 征一郎（税理士）

1 開会

2 委員長の選出

委員の互選により、采女博文委員が委員長に選出された。

3 審査

事務局から、今回の審議案件は平成 29 年 1 月から 3 月までに契約が締結された物品役務等の競争入札 9 件、物品・役務等の随意契約によるもの、公共工事の競争入札・随意契約によるものの対象案件はないことを説明し、去る 6 月 12 日に開催した公共調達審査会の審議において、全案件について承認されたことが報告された。

- (1) 物品・役務等に係る競争入札案件の No.2 および No.3 について、事務局の会計第 1 係長が、公共調達委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおりであった。

No.2（平成 28 年度鹿児島労働局物品購入（非常用トイレ））について

（委員）昨年度は購入がなかった物品だと思われる。どのようなものか。必要性があつての購入か。消費期限などは長いのか。

（回答）防災の実施要領に基づいて設置しておくべきものとして購入したものである。凝固剤と袋がセットになった非常用簡易トイレである。凝固剤なので、消費可能期間は長い。

No.3（平成 28 年度機密文書廃棄処分業務委託契約（単価契約））について

（委員）非常に特殊な作業であるため、事務用品販売業者である H 社ではできないのではないかと。

(回答) 落札業者である H 社は、裁断ができる車を持っているため、作業が可能である。

(委員) 今回 2 社しか入札がなかったことから、特殊性が高いものと思われるが、もう 1 社の入札者はどのような企業であったのか。

(回答) 本社が北九州の企業である。入札は鹿児島支社から行われた。

以上の意見を経て、物品・役務等に係る競争入札案件の No.2 および No.3 は適正と判断された。

(2) 物品・役務等に係る競争入札案件の No.1 および No.4 について、事務局の会計第 2 係長が、公共調達委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおりであった。

No.1 (鹿屋公共職業安定所窓口呼び出し装置の更新一式) について

(委員) 予定価格からすると、相当安く落札されている。非常に安いので、安い理由が気になる。保守契約のようなものが含まれるのか。

(回答) この契約にはランニングコストはない。

No.4 (鹿児島労働局総務課外 5 拠点における複合機の購入及び保守業務) について

(委員) 予定価格より安く落札されている。ランニングコストを含む契約の場合、来年度の保守契約で元をとる場合がある。平成 29 年度は同じ業者が落札しているのではないか。1 枚あたりの単価が上がっているのではないか。

(回答) 平成 29 年度の落札業者は、H 社ではなく、R 社である。1 枚あたりの単価は 28 年度と同額。

(委員) 平成 29 年度の保守契約は、4 月 1 日からの利用分であるが、今回の審査の対象とならないのはなぜか。

(回答) 平成 29 年度の契約は、入札及び開札は 3 月中に行っているが、契約は 4 月 1 日以降である必要がある。今回審査対象となっているのは、平成 29 年 1 月から 3 月までに契約を締結したものであるため、対象とはならないものである。

以上の意見を経て、物品・役務等に係る競争入札案件の No.1 および No.4 は適正と判断された。

(3) 物品・役務等に係る競争入札案件の No.6 および No.8、No.9 について、事務局の会計第 1 係長が、公共調達委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以

下のとおりであった。

No.6（自動体外式除細動器（AED）の購入）について

（委員）非常に専門的な備品であるが、入札業者は専門の業者ではない。専門の業者が入札に参加してもいいと思われる。

小売り業者がメーカーに相談して価格設定されると思われるが、専門の業者が直接入札に参加すれば、もっと安くなると思われる。

No.8（平成 28 年度第 2 回雇用保険関係業務冊子印刷）について

（委員）予定価格の設定の方法はどうか。

（回答）過去 3 年間の応札価格の平均と、材料費の市場価格、最賃の上昇額などを勘案して算出した。

（委員）ずっと A 社が落札している。印刷は版元を持っていると他の業者より安く落札できるため、他の業者が入り込めなくなっているのではないかと思われる。

No.9（鹿児島労働局内各官署備品一括購入）について

（委員）改札価格は税込みか税抜きか。

（回答）全て税抜き価格である。

（委員）予定価格内におさまっているのが落札した S 社のみとなっている。予定価格はどのように算出したのか。

（回答）昨年度は庁舎移転が 2 回あり、必要な金額を比較的正確に予想することができたと考えられる。

以上の意見を経て、物品・役務等に係る競争入札案件の No.6 および No.8、No.9 は適正と判断された。

（4）物品・役務等に係る競争入札案件の No.5 および No.7 について、事務局の会計第 2 係長が、公共調達委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおりであった。

No.5（鹿児島労働局内 3 官署備品（シュレッダー）購入）について

（委員）予定価格の算出方法はどうか。

（回答）インターネットで代表的なメーカーの商品割引率などから計算して算出した。

No.7（国分公共職業安定所窓口呼出装置の更新）について

（委員）この装置は県下ハローワークにはほとんど設置されているものか。

（回答）規模の大きいところから順次設置しているところである。今回はその更新作業である。

（委員）No.1 と No.7 について。M 社は、No.1 から No.7 で価格を大きく落としているのはなぜか。

（回答）元々、窓口に専用機を設置することで仕様を満たす形であったが、タブレット型の汎用機で仕様を満たすように変更したことから、価格を下げる事ができた。

以上の意見を経て、物品・役務等に係る競争入札案件の No.5 および No.7 は適正と判断された。

4 その他

（委員）電子入札と、紙による入札があるが、紙による入札は談合もできうること、事務手続きの間違いをなくするため、電子による入札へ変更するよう指導すべきである。

（委員）公共調達関し委員会審議対象一覧及び審議結果の文字が小さすぎて見えない。

（回答）法人番号を入れなければならなくなったため、昨年より文字が小さくなっている。

（委員）表記を 2 段にするなど、見えやすい工夫をしてほしい。

（回答）了解した。

5 案件の承認

全ての案件について、委員からの異議はなく、適正として承認された。

6 次回公共調達監視委員会の開催予定

平成 29 年度第 2 回目の公共調達監視委員会については、平成 29 年 10 月頃の開催とし、各委員の日程調整を行ったうえで決定する。